

専門部から

生涯教育の新しい学習方法による単位取得について

◇学術部◇

平成16年度より、日本医師会生涯教育制度の評価対象となる学習内容は以下の単位表のとおり変更になります。特に、下記4項目が新たな評価対象として加えられました。

- (1) 「インターネット生涯教育講座」セルフアセスメント解答
- (2) 医師国家試験公募問題作成
- (3) 臨床実習・臨床研修の指導医
- (4) 指導医のための教育ワークショップ参加

このうち、「医師国家試験公募問題作成」と「インターネット生涯教育講座によるセルフアセスメント解答」に関する具体的な単位取得方法が日本医師会より示されており、下記転載、お知らせします。

なお、医師国家資格試験出題基準（平成17年版）の詳細をご覧になりたい場合には、北海道医師会事業第四課までご連絡下さい。当会よりデータで提供いたします。

学習方法の種類	単位
1. 講演会・講習会等への参加	
(1) 日本医師会主催の講演会等	5
(2) 都道府県医師会主催の講演会等	
(3) 郡市区医師会主催の講演会等	
(4) 日本医学会総会および日本医学会シンポジウム	5
(5) 各医学会、医会、その他各種団体主催の学会・講演会等	3
2. 体験学習（病診・診診連携の中での学習）	
共同診療、病理解剖見学、手術見学、病棟回診見学、症例検討会、CPCや小グループによる心電図・X線フィルム・US等の勉強会	5
3. 各種業績	
(1) 学会発表	5
(2) 医学学術論文の執筆	5
(3) 医学著書の執筆	5
(4) 各種講習会、講演会等の講師	5
(5) 臨床実習・臨床研修の指導医	5
(6) 指導医のための教育ワークショップ参加	10
(7) 医師国家試験問題作成（試験問題公募に対する協力）	3
4. 自己（自宅）学習（1回1単位）	
(1) 日医雑誌を読んで評価・意見をハガキ・インターネットで回答	1
(2) インターネット生涯教育講座セルフアセスメント解答	1

I. 「インターネット生涯教育講座」セルフアセスメント解答について

1. 趣旨

「インターネット生涯教育講座」は、平成14年

度から日医ホームページ生涯教育On-lineにおいて配信されている。平成16年度より、本会ではこれを「日医生涯教育協力講座」(後述)に含め、16年10月現在、8社の協力を得ている。本講座の企

画監修は本会学術企画委員会が行っており、本講座の各パートには、学習成果を自己評価できるようセルフアセスメントを設けている。

2. 取得単位

各パート（約30分）に設けられたセルフアセスメントは一正解形式で5設問からなり、全問を解答すると、1単位が取得できる（正解数による採点制などは、現在検討中である）。なお、各パートは3年間掲載し、セルフアセスメントは毎年改訂する予定である。1年間に同一パートで2単位取得することはできない。

3. セルフアセスメント解答受付開始時期

平成16年11月1日(月)より

4. 取得単位の取り扱い

- (1) 日本医師会は、「インターネット生涯教育講座」セルフアセスメント解答により会員が取得した単位数を、コンピュータに記録し、管理する。
- (2) 日本医師会でコンピュータ管理された(1)の学習単位は、都道府県医師会から提出された申告書または一括申告の合計単位数に加算され、その会員の最終申告単位とする。
- (3) 「インターネット生涯教育講座」セルフアセスメント解答者に関する年間の集計結果は、日本医師会から都道府県医師会に年度末に通知する。

日医生涯教育協力講座「インターネット生涯教育講座」テーマ一覧

平成16年10月現在（制作中の作品も含む）

配信開始年度	テ	マ	テ	マ	監	修	者	協賛会社
平成14年度	救急蘇生法	3	パート	小林 国男	帝京大学救命救急センター教授			
	虚血性心疾患の診療	2	パート	永井 良三	東京大学医学部循環器内科教授			
	再生医学	3	パート	秦 順一	国立成育医療センター研究所長			
	最近の感染症	3	パート	木村 哲	東京大学医学部微生物学教授			
平成15年度	内視鏡手術	3	パート	北島 政樹	慶應義塾大学医学部長・外科教授			
	画像診断－最近の進歩－	4	パート	片山 仁	大東医学技術専門学校長			
	肝疾患診療（外科編）	1	パート	石井 裕正	慶應義塾大学医学部内科教授			藤沢薬品工業株式会社
	肝疾患診療（内科編）	2	パート	幕内 雅敏	東京大学医学部臓器病態外科教授			
平成16年度	よくみる感染症	1	パート	木村 哲	国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター			
	免疫－基礎編－	3	パート	垣生 園子	東海大学医学部生体防御学教授			
	心不全診療	2	パート	永井 良三	東京大学医学部附属病院長・循環器内科教授			
	メンタルケア	2	パート	宮岡 等	北里大医学部精神科学教授			
	在宅酸素療法	1	パート	谷本 普一	東京慈恵医科大学客員教授・谷本内科クリニック院長・東京呼吸器疾患研究所長			
	インフルエンザとかぜ症候群	2	パート	工藤 翔二	日本医科大学内科教授			中外製薬株式会社
	生活習慣病予防 ～メタボリックシンドロームにおける患者指導～	3	パート	齋藤 康	千葉大学大学院医学研究院細胞治療学教授			キッセイ薬品工業株式会社
	禁煙指導	1	パート	櫻井 秀也	日本医師会副会長			ファイザー株式会社
	高血圧診療	6	パート	猿田 享男	慶應義塾大学医学部内科教授			第一製薬株式会社
	不整脈の治療と管理	3	パート	小川 聡	慶應義塾大学医学部内科教授			
	子宮頸癌の診断と治療	1	パート	藤井 多磨	慶應義塾大学医学部産婦人科			塩野義製薬株式会社
	CAPD療法	1	パート	川口 良人	神奈川県衛生看護専門学校付属病院長			バクスター株式会社
疼痛コントロール	4	パート	花園 一雄	東京大学医学部生体管理医学（麻酔学）教授			田辺製薬株式会社	

II. 医師国家試験公募問題作成について

1. 趣旨

最近の医師国家試験は、合否基準、試験問題の公募、プール制の導入、試験問題の回収など、多くの点で改善が行われている。試験問題については、平成13年から全国の大学医学部・医科大学教員からの公募が開始されており、日本医師会会員にも作成（出題）を依頼することが、医師国試改善検討委員会で決定されている（平成15年4月17日）。地域医療に携わる臨床経験豊富な日医会員が生涯教育の一環として、医師国家試験問題を作成し、わが国の良き医師養成に参加することが望まれる。

2. 出題範囲と出題形式

(1) 出題範囲は、医師国家資格試験出題基準（平成17年版）の以下の中からとする。

① 必修の基本的事項

② 医学総論 I. 保健医療論, II. 予防と健康管理・増進

(2) 出題形式は、Aタイプ（5肢1択形式）とする。

(3) 一般問題、臨床実地問題、いずれでもよい。

3. 会員の応募問題の取り扱い

(1) 会員は、作成した試験問題を都道府県医師会に提出する。取得単位は当面3単位とする。

(2) 都道府県医師会生涯教育担当者は、会員が応募した問題を取りまとめ、日医生涯教育課宛に

郵送する。また、出題者名を記録し、その年度の生涯教育一括申告データに取得単位を加算する、あるいはその年度の申告書に取得単位の記載があるかどうかチェックする。

(3) 日医生涯教育課は、都道府県医師会から提出された出題を厚生労働省の国試フォーマットに入力し、厚生労働省に一括して送る。

5. 日医への提出締切：平成17年1月14日(金)必着とする。

6. 医師国試問題作成に関する講習会開催について

現在の医師国試問題は、すべて客観試験（多肢選択形式-MCQ）で行われている。MCQの作成には、ある程度の知識を要するため、日医生涯教育推進委員会では、MCQ作成講習会（仮称）の開催を検討している。

当会では、平成16年度申告につきましても、例年同様に一括申告方式を取り入れますので、平成17年5月初旬に北海道医師会より「受講証」を発送いたします際、再度ご案内いたします。多くの会員のみなさまがご参加されますようお願いいたします。

不明な点などございます場合は、下記までご連絡ください。

北海道医師会事業第四課
TEL011-231-1727(直通)

表紙写真

『カムイトウにイトウを釣る』

札幌市医師会 中里 哲夫

アイヌ語で「カムイ」は「神」、「トウ」は「湖」の意味。鬱蒼たる原始林に囲まれた「神の湖」は、オホーツク沿岸、猿払にある。青とも碧とも言い難い清冽な水を湛えた湖には、「幻の魚」イトウが棲む。

雪解け水のおさまる6月から結氷する11月末

まで、イトウを求めて、釣り人は湖水に立ち込む。

写真の釣り人は、旭川市立病院の京極氏。

このあと見事に巨大なイトウを釣り上げたと言いたいのだが、残念なことにボウズであった。